



熊本県学校体育功労者賞を受賞して

前人吉市立第二中学校 校長 湊田 尚史

この度、熊本県学校体育功労者賞をいただきまして、これまでご指導・ご支援いただきました皆様に深い感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございます。

振り返れば、昭和60年に人吉市立大畑小学校から教職生活がスタートしました。大学出たての新任教師に対して、先輩方や保護者の方々は同じ方向を向いてフォローしていただいたり、飲み方を通してコミュニケーションを図っていただいたりと、とても寛容で、温かく育てていただいたように思います。2校目は人吉市立第三中学校。念願の体育教師になりました。体育担当者会議等では、先輩方に「体育人」としての心構え等を機会あるたびにご教示いただきました。3校目は、相良村立相良南中学校。現在は統合して相良中学校となっていますが、当時の相良南中は生徒指導上落ち着きがない状態でした。学年2クラスずつの小規模校でしたが、就任1年目は体育担当2人が3年生担任というなかなかの配置でした。年々落ち着いてきて、それと同時に統合の話が進んでいったようです。この時期に、体育の大先輩から飲み会の座で「最近の若い者は、“ハイ”と言えない者が増えている。お前ならできると思って任せようとしているのに、“いや〜”とか“ちょっと”とか“できません”とか言う。できるかどうかわからなくても、まず“ハイ”と言ってやってみることが大切だ。」という話をされました。この話がとても胸に刺さり、それからいろんなことに対して「ハイやります」と引き受けることにしました。いろんな役が回ってきて大変なことになりましたが、今振り返れば、私の教職生活の大きな転機になったと思います。4校目は、津奈木町立津奈木中学校。そして、5校目は、人吉市立第二中学校。相良南中学校から津奈木中学校、人吉市立第二中学校においては、計8年間、郡市中体研の理事長を務めさせていただきました。その中で、葦北水俣と人吉球磨で2度、熊本県中学校保健体育研究発表大会に関わらせていただいたことが大きな経験にもなり、私自身の財産にもなったように思います。その後、球磨教育事務所。県教育庁体育保健課。施設一体型小中一貫校としてスタートする年に赴任した八代市立泉小中学校。そして、山江村立山田小学校。その後、人吉市教育委員会に2年間お世話になり、ようやく15年ぶりに中学校に帰ってきて、最後の2年間を中学校の体育にも関わらせていただきました。先輩方に指導・支援されながらガムシャラに学級経営・授業づくり・部活動に汗を流した20・30代。いろんな役をいただいて管内全体のことも目を向けて尽力した40代。そして、違う立場から人材育成を意識して取り組んだ50代。いろんな方々のおかげで教職生活38年間を終えることができました。そのうえ、身に余る賞をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、これからさらに激動の時代になり、いろんな事に変革が求められる中ですが、熊本県中学校体育研究会及び中学校体育連盟の更なる発展をご祈念申し上げて、お礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。